

2 未使用ワクチン（モデルナ社製）の有効期限到来について

三木市では、令和4年1月からファイザー社製ワクチンを使用し、医療機関で3回目接種を開始し、2月からはモデルナ社製ワクチン（以下「モデルナ」）を使用し、集団接種を進めてきました。3回目接種で使用するモデルナは、令和4年1月26日・2月22日に今月末を有効期限とするワクチン1,100バイアル（16,500回分）が国から納入されましたが、有効期限までに全量を使用することが困難であり、352バイアル（5,280回分）の未使用ワクチンの有効期限が到来し、廃棄する見込みとなりました。

(1) これまでのモデルナ使用促進の取り組み

- ・ 集団接種のすべての日程（12歳から17歳専用日を除く）および個別接種でモデルナを使用
- ・ 接種券送付時に送付するチラシやホームページ等で交互接種を周知・促進
- ・ 集団接種で予約なし接種、夜間接種、障がい者専用日を実施

(2) 三木市の3回目接種率（令和4年5月15日時点）

	1回目接種率	2回目接種率	3回目接種率
三木市	82.23%	81.86%	58.65%
国	81.60%	80.30%	55.78%
県	79.56%	78.98%	53.26%

※三木市の3回目接種率の母数はR3.12.1時点全人口 75,620人

三木市	接種人数	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
1回目接種	62,186人	47,412人	14,772人	2人
2回目接種	61,905人	47,235人	14,667人	3人
3回目接種	44,354人	24,575人	19,779人	—

※ファイザーは小児用含む

(3) 今後の対応について

今回の未使用のモデルナが発生したことについて、本市では集団接種におけるすべての日程でモデルナを使用するなど、様々なモデルナ利用促進に取り組んできたところですが、ファイザーの接種希望者が多く、また有効期限までの期間が3カ月しかなかったことが大きな要因として考えられます。

今後、実施する4回目接種においてもこれまで同様に、ワクチンの供給量や供給時期を踏まえ、接種を希望する市民が早期に接種を受けられるように、ファイザー、モデルナ2種類のワクチンを最大限に活用し、できるだけ未使用ワクチンが発生しないよう引き続き取り組んでいきます。今回生じる見込みの未使用ワクチンは適正に処分を行います。

セールスポイント

これまでの様々な接種促進、モデルナの活用の取り組みの結果、3回目の接種率は、国、県の平均より高い58.65%となり、順調に進んでいるところです。

引き続き、迅速に接種を行える体制を維持し、早期でのワクチン接種を進めます。

未使用ワクチンについては、本市同様、全国的に未使用モデルナの有効期限が到来する自治体が多くあると想定されます。